



# 平成27年度 泉佐野市の財政状況

問合せ先 行財政管理課

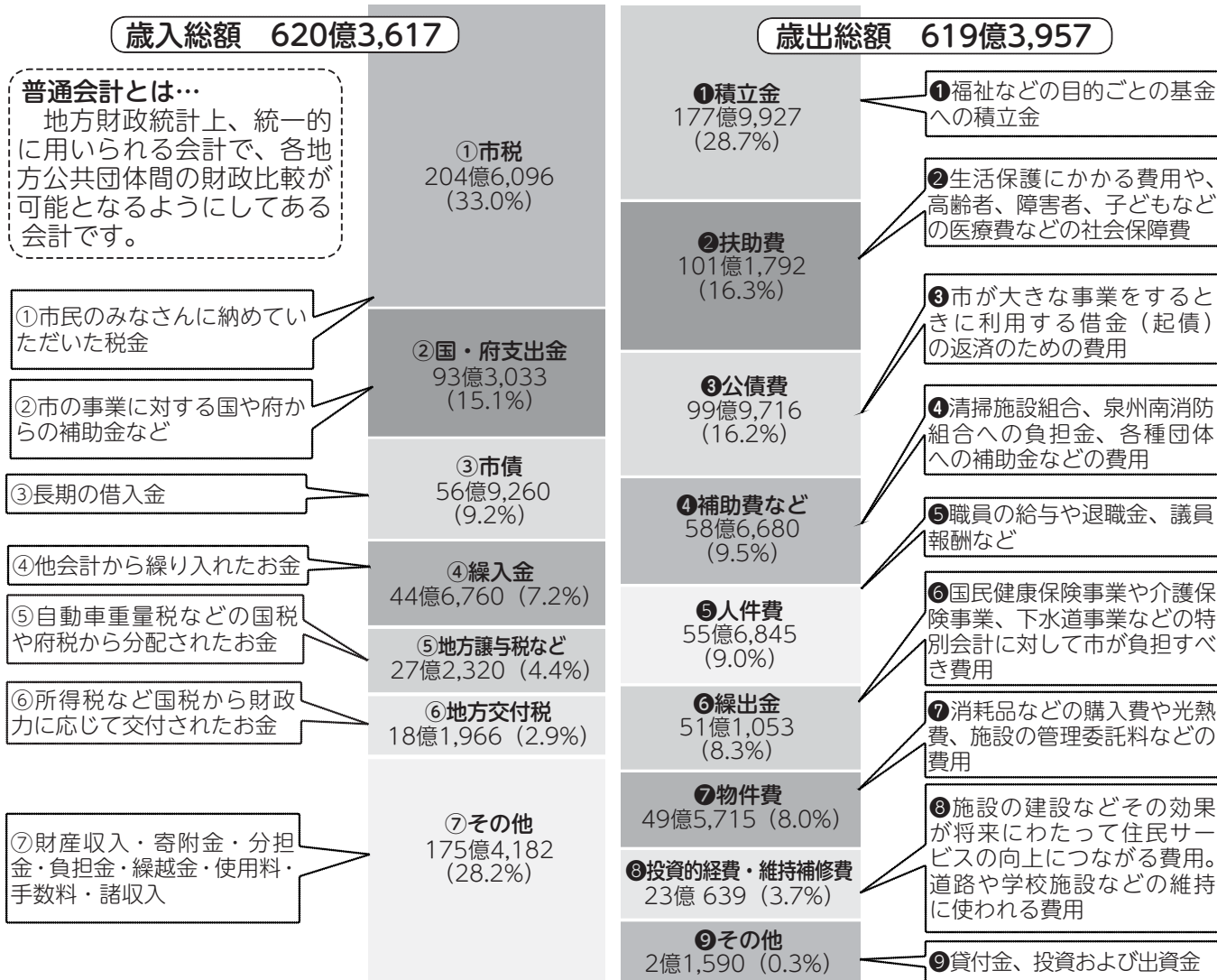


決算の特徴としては、平成27年3月に策定した中期財政計画に基づく給与カットおよび職員の退職不補充などの歳出削減、空港連絡橋利用税の徴収、遊休財産の積極的な売却、ふるさと応援寄附の推進およびネーミングライツなどの歳入確保に努めたことにより、前年度に引き続き5,300万円の黒字となりました。

<b>歳入総額</b>	<b>歳出総額</b>	<b>翌年度繰越財源</b>	<b>実質収支額</b>
620億3,617万円	619億3,957万円	4,376万円	= 5,284万円

## 平成27年度 普通会計の決算

(単位:万円)



### 市民1人あたりでは…

<b>歳入 614,621円</b>	固定資産税 98,202円	<b>歳出 613,664円</b>	●総務費 221,132円	●消防費 12,688円
●市税 202,716円	市民税 61,312円	●民生費 157,419円	●商工費 8,232円	●議会費 3,088円
●国庫支出金、府支出金 92,440円	市たばこ税 23,580円	●公債費 99,046円	●その他(労働費など) 11,753円	
●市債 56,399円	都市計画税 13,856円	●衛生費 39,960円		
●その他(繰入金など) 263,066円	軽自動車税 1,805円	●土木費 30,610円		
	入湯税 92円	●教育費 29,736円		
	法定外普通税 3,869円			

教育・子育て支援

■日新小学校校舎の増改築



■小学校13校の通学路へ防犯カメラを設置



■日根野小学校屋内運動場の耐震化

■こども医療費助成の拡充

■母子保健健康診査（妊婦健診）の拡充

安全・安心なまちづくり

■（仮称）泉佐野南部公園（防災公園）の整備

■市役所庁舎およびJ:COM末広体育館の耐震化



■防災行政無線施設の整備



まちの活性化・賑わいの創出

■町会・自治会への加入促進（無償可燃ごみ袋の配布）



■定住・移住の促進（住宅総合助成金の創設）

平成27年度に実施した主要事業

各会計決算（歳出）

（単位：万円）

会計名	平成27年度	平成26年度	比較
一般会計	652億9,417	468億2,527	184億6,890
国民健康保険事業特別会計	137億 68	118億3,929	18億6,139
下水道事業特別会計	66億5,148	66億2,206	2,942
公共用地先行取得事業特別会計	27億1,703	4億4,300	22億7,403
介護保険事業特別会計	80億2,228	76億2,099	4億 129
後期高齢者医療事業特別会計	10億2,238	10億1,355	883
水道事業会計	24億7,037	35億2,059	△10億5,022
病院事業債管理特別会計	21億9,761	22億6,189	△6,428
合計	1,020億7,600	801億4,664	219億2,936



平成27年度末残高

●市債（長期借入金）

…767億円

市民1人あたり 759,659円

●積立金…179億円

市民1人あたり 177,266円

### 健全化判断比率の状況

実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字により数値はバー表記、実質公債費比率は、22.4%と前年度から1.2ポイントの改善、将来負担比率も191.6%と前年度より100.0ポイント改善し、いずれも早期健全化の基準未満となっています。

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は黒字のため「-」で表示

(単位：%)

健全化判断比率	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	早期健全化 基準
実質赤字比率	-	-	12.30
連結実質赤字比率	-	-	17.30
実質公債費比率	23.6	22.4	25.0
将来負担比率	291.6	191.6	350.0

**実質赤字比率**…標準財政規模\*に対する、一般会計などに生じている赤字の大きさの割合

**連結実質赤字比率**…標準財政規模に対する、水道や下水道など公営企業を含む全会計に生じている赤字の大きさの割合

**実質公債費比率**…標準財政規模を基本とする額に対する、借入金返済額の大きさの割合

**将来負担比率**…標準財政規模を基本とする額に対する、借入金など現在抱えている負債の大きさの割合

\*標準財政規模…市の経常的な一般財源の規模を示すもので、標準的な税収入額に普通交付税などを加算した額  
(平成27年度決算：約221億円)



### 今後の取り組み項目

#### 【支出の抑制、効果的な行政運営に関する事項】

- 事務事業の継続した見直し
- 広域連携の推進
- 窓口業務委託をはじめ民間委託の拡充
- 定員適正化計画に沿った定員削減
- 給与水準の適正化などによる総人件費の抑制

#### 【収入の確保に関する事項】

- 滞納処分の強化および徴収率の向上
- 遊休財産の積極的な売却
- ふるさと応援寄附金制度、ネーミングライツなどの更なる税外収入の確保

### 中期財政計画期間終了時の目標

- 実質公債費比率は23.5%以下
- 地方債残高は標準財政規模の3.4倍以下
- 基金残高は18億円以上を保持

## 主な会計の決算



【主な事業】  
日根野浄水場内の排水処理施設の乾燥機の更新工事を行うとともに、泉佐野駅西口線及び国道26号線等の市内老朽管の更新工事を行い、安全で良質な水道水の安定供給を図るとともに、ライフライン機能の強化に努めました。

#### 平成27年度決算内訳

(単位：万円)

収 益		費 用	
営 業	25億7,047	営 業	23億 356
営 業 外	3億 247	営 業 外	1億6,431
特別利益	239	特別損失	250
-	-	純 利 益	4億 496
合 計	28億7,533	合 計	28億7,533

### 水道事業会計

問合せ先 上下水道局  
(水道事業)  
☎467-2800  
Fax467-1801

水道事業会計は、事業収益28億7,533万円(前年度比9.2%減)に対し、事業費用24億7,037万円(前年度比29.8%減)で、4億4,966万円の純利益が生じました。

### 水を大切に



- 導・送・配水管総延長 454.32km (平成28年3月31日現在)
- 総配水量 (年間) 1,381.7万<sup>m</sup>
- 企業団水1,160.0万<sup>m</sup>+自己水221.7万<sup>m</sup>
- 1日平均配水量 3万7,752<sup>m</sup>
- 1人あたり1日平均配水量 374ℓ

■給水装置工事や漏水修理の申込は市指定工事業者へ  
(<http://www.water.izumisano.osaka.jp/>)

### 上下水道局からのお願い

市では、昭和44年4月1日から、鉛管の使用を禁止してきましたが、それ以前に給水装置を設置した建物では、鉛管を使用していることがあります。この場合、長時間水道を使用しないと、水道管から微量の鉛が溶け出したり、消毒用塩素濃度の低下や赤水が発生する場合があります。朝一番や長時間留守にした場合は、バケツ1杯程度の水道水を飲み水以外に使用するようお願いします。

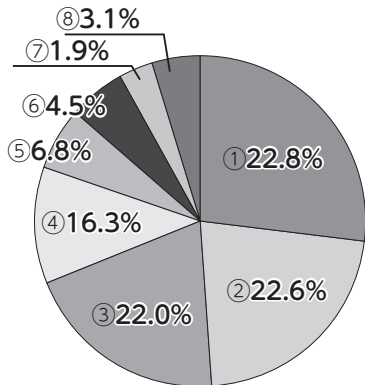


## 国民健康保険事業特別会計

問合せ 国保年金課

国民健康保険事業特別会計は、歳入139億3,507万円に対して、歳出137億68万円で、差引2億3,439万円の黒字となりました。単年度では1億8,462万円の赤字となっています。

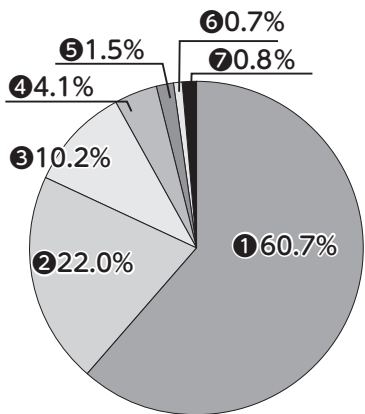
### 歳入 139億3,507万円



科目	金額 (万円)
①共同事業交付金	31億7,800
②国庫支出金	31億4,524
③前期高齢者交付金	30億6,100
④保険料	22億6,497
⑤繰入金	9億4,489
⑥府支出金	6億3,000
⑦療養給付費交付金	2億7,001
⑧その他	4億4,096



### 歳出 137億68万円



科目	金額 (万円)
①保険給付費	83億1,833
②共同事業拠出金	30億846
③後期高齢者支援金	14億364
④介護納付金	5億6,623
⑤総務費	2億305
⑥保健事業費	8,901
⑦その他	1億1,196

### 府内平均を大幅に上回る医療費

平成26年度の本市国保被保険者1人あたりの医療費は36万5,361円と府内8番目で、府内平均の34万7,447円を大きく上回っています。これは、ほかの市町村に比べレセプト1件当たりの診療日数および診療費が多くなっていることが影響しています。

以前からジェネリック医薬品の利用促進や柔道整復などの適正受診の啓発などの医療費適正化の取組を進めるなど、国民健康保険事業の安定した運営に努め、被保険者のみなさんのご協力により保険料率は平成27年度は引き下げており平成28年度も引き続き据置きとなっています。しかしながら、1人あたりの医療費は増加し続けており、府内でも引き続き高いレベルにあります。



### 病気は未然に防ぎましょう

本市では市民の健康づくりを推進するため、健康ハイキング、ウォーキングチャレンジ、温水プール体験教室などの保健事業を実施しています。また、生活習慣病予防に着目した特定健診・特定保健指導の推進も図っています。これは内臓脂肪型肥満や糖尿病、高血圧、高脂血症などの危険因子が重なるほど、心疾患や脳血管疾患を発症する危険が増大することから、生活習慣病予防に取り組むこととなったものです。

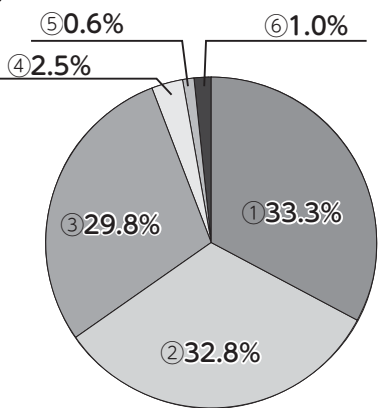
その他、被保険者のみなさんには、人間ドック・脳ドックや保健センターで実施している各種検診を利用して、病気の予防、早期発見、早期治療に努めていただき、さらなる健康寿命の延伸や医療費の適正化にご協力をお願いします。

### 歳入 49億2,169万円

## 下水道事業特別会計

問合せ 上下水道総務課

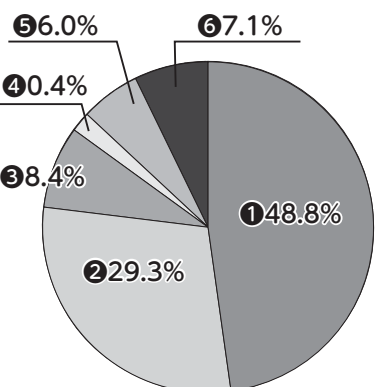
☎450-2222 Fax450-2223



科目	金額 (万円)
①起債	16億4,050
②使用料	16億1,432
③一般会計繰入金	14億6,703
④国庫補助金	1億2,440
⑤受益者負担金	2,717
⑥その他	4,827



### 歳出 66億5,148万円



科目	金額 (万円)
①公債費	32億4,678
②前年度繰上充用金	19億4,853
③公共下水道建設費	5億6,099
④流域下水道建設負担金	2,513
⑤一般管理費・人件費	3億9,747
⑥中部・南部処理場維持管理負担金	4億7,258

昭和61年度より着手している公共下水道の平成27年度末整備面積は雨水429ha、汚水865ha（りんくうタウン含む）で、汚水の下水道人口普及率は36.3%になっています。

下水道財政状況は、平成27年単年度で2億1,874万円の黒字となりましたが、累積では、歳入額49億2,169万円に対して、歳出額66億5,148万円で、17億2,979万円の不足が生じています。

今後も引き続き事業費の縮小、人件費・事務経費の節減、下水道使用料の適正化などにより、下水道財政の健全化を図っていきます。

厳しい財政状況が続いていますが、可能な限り下水道工事を進めていきます。市民のみなさんには下水道が利用できるようになりましたら、3年以内にトイレの水洗化を行うなど、ご理解ご協力をお願いします。